

「ニスの功罪」



佐々木氏



十七世紀、西ヨーロッパは現在のドイツ、オーストリア、ハンガリー、クロアチア、スロヴェニア、そしてルーマニアとイタリアの一部などを支配する巨大な一しかしそれゆえ内部分裂の危うさを孕む一神聖ローマ帝国。と、深刻な内戦を収めて絶対的な王権を確立しつつあったフランス王国や、新世界との交易で莫大な富を得たイギリス王国とネーデルラント（主に現在のオランダ）、かつて独占していたその利を失いつつあった斜陽のスペイン王国などが拮抗し、そうした国際的な緊張の中でダイナミックな文化が生まれつつあった。

これを「バロック時代」、またこの時代のドラマチックで人間臭い新たな表現を「バロック美術」と呼ぶ。

南ネーデルラント＝フランドル（現在のベルギー）で外交官としても活躍した巨匠ルーベンス、ネーデルラントのデルフトで恵まれない生涯を送ったフェルメール、スペイン王国の首席宮廷画家であったベラスケス、同じくスペインのセビリヤで活躍したムリーリョやスルバラン、イタリアのカラヴァッジョや超絶のテクニクで知られる彫刻家ベルニーニ、画家としての生涯の大部分をイタリアで過ごしたフランスの巨匠プッサンなど、この時代を

代表作「夜警」は出色

「彩った天才たちはそれこそ枚挙にいとまがない。

が、中でもネーデルラントで活躍したレンブラント・ファン・レインとその代表作「夜警」は出色である。

この当時、ネーデルラント、すなわちオランダは、日本で長崎の出島交易を始めてはいたが、独立国ではなく、宗主国スペインからの離脱を目指す八十年戦争のさなかにあった。「夜警」は一六四二年、その三年前に重要な局地戦にたて続けに勝利し、独立がもはや国際的な承認を待っただけという高揚の中で依頼され、制作された。

依頼したのはアムステルダムの市民自警団、フランス・バニング・コック隊長率いる火縄銃手組合十八人。高額な画料は彼らが均等に分割支払いすることによって賄われた。

当時、ネーデルラントでは、このような方法で幾人も肖像を一つの画面におさめる「集団肖像画」が流行し、レンブラントはその第一人者と目されていた。

「夜警」はその後七十年以

Iwaki民間救急タクシー
 医療的ケアを継続搬送いたします
 (酸素・吸引等)
 いわき市消防本部認定
 民間救急、寝台タクシー、車イスタクシー
 予約・問い合わせ
0246-24-9131
090-1066-3332

なかにし
内科クリニック
 内科・呼吸器科・消化器科・リウマチ科・放射線科
 院長 中西 文雄
 ■診療時間
 月・火・水・金 / 8:00~12:30 14:00~17:00
 土曜日 / 8:00~13:00
 ■休診日 / 木曜・日曜・祝日
 いわき市平北白土字宮前58-1 tel.0246-21-8181



●レンブラント・ファン・レイン「夜警」 1642年。363 × 437cm
油彩・キャンバス

画面中央の隊長と副隊長およびその後ろの女の子にスポットが当たっているが、負担した画料は全員均等だったので不満が生じたともいわれる。レンブラントはバロック美術で大きく発展した明暗表現（キアスクーロ）に特に優れていた。なお女の子は、鶏爪を下げていることから火縄銃手組合の象徴的存在と考えられる

上にわたって組合集会所に放置されるがままになっていたが、一七一五年、アムステルダム市の役所に移設されることになり、その際なんと、展示壁面にあわせて上下左右が少しづつ切り取られてしまった。

実際は昼の自警団

今では考えられない暴挙であるが、当時は一より正しく言えば十九世紀までは、こう

本作は一八八五年、新設されたアムステルダム国立美術館に移管され、以後、現在に

してしばしば展示スペースやお気に入りの額縁のサイズにあわせて絵画の一部が切り取られることも珍しくはなかったのである。

至るまでこの美術館の大きな「目玉」になっている。

「夜警」は、正しくは「フランス・バニング・コック隊長とウィレム・ファン・ライテンブルフ副隊長の市民隊」という。時を経て表面に塗られたニスが濃い茶色に変色してしまい、とりわけ背景が薄暗くなつたがために、夜の自警団「夜警」と呼ばれるようになったらしい。

二十世紀になって美術館がたびたびクリーニングと修復を行った結果、背景が明るくなり、実際には夜ではなく昼の自警団を描いたということが判明したのである。もっとも、だからといってニスは必要とするのは早計

である。本作は二十世紀以降たびたび観客に「襲撃」されているが、一回を除き、ナイフで切りつけられても酸をかけられても大きな被害を受けなかった。

なぜか一迅速な対応が奏功したのはもちろんだが、ここでは分厚く塗られたニスが損壊から守ってくれたのである。

また切り取られた部分についても、幸い別の画家による模写が残っていたので、これを手掛かりにして、二〇一九―二一年にかけてAIなどを活用して失われた部分の復元がなされたことも付け加えておきたい。

筆者プロフィール

佐々木 吉晴

ささき・よしはる

1956（昭和31）年宮城県生まれ。東北大学文学部哲学科美学西洋美術史専攻卒業。いわき市在住。1980年、いわき市立美術館建設準備室に勤務、学芸課長、副館長を経て2012年から2021年まで館長。現在、宇都宮美術館長、斎藤清美術館長、全国美術館会議理事・災害対策委員長

日本医療機能評価機構
認定病院



社団法人 養生会

理事長 中山 大

【臨床研修指定病院】

かしま病院

かしま病院 介護医療院

内科、呼吸器内科、消化器内科、麻酔科、腎臓内科（人工透析）、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、婦人科、皮膚科、循環器内科、糖尿病内科、肝臓内科、泌尿器科、神経内科、心療内科、放射線科

〒971-8143 福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1 ☎0246(58)8010(代)

かしま訪問看護ステーション

いわき市鹿島町下蔵持字里屋7-1 ☎(58)7026

かしまヘルパーステーション

いわき市鹿島町下蔵持字里屋7-3 ☎(76)1361

居宅介護支援事業所

いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1 ☎(76)0427